

文学部教育学科課程表

平成30年度以降入学生適用 (その1)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考					
			1年			2年			3年			4年								
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位						
教養教育科目	T G ベーシ ック	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●	2											◎	◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。		
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												◎	
			キリスト教学A(キリスト教と倫理)	半期										2						◎
			キリスト教学B(キリスト教と宗教)	半期									2							
			キリスト教学C(キリスト教と文化)	半期									2							
		キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	半期									2								
		市民社会を生きる	半期	○	○	2														
		知的基礎	地球社会を生きる	半期				○	○	2										
			科学技術社会を生きる	半期				○	○	2										
			キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2													
	クリティカル・シンキング		半期				○	○	2											
	数理的思考の基礎		半期	○	○	2														
	統計的思考の基礎		半期	○	○	2														
	科学的思考の基礎		半期	○	○	2														
	学科教養科目	情報化社会の基礎	半期				○	○	2											
		メディア・リテラシー	半期	○	○	2														
		読解・作文の技法	半期	●	2													◎		
		研究・発表の技法	半期		●	2												◎		
		哲学	半期	○	○	2														
		音楽(器楽)	半期				○	○	2											
		芸術論	半期				○	○	2											
		歴史学	半期	○	○	2														
	文化人類学	半期	○	○	2															
	社会学	半期	○	○	2															
	経済学	半期	○	○	2															
	法学	半期				○	○	2												
	日本国憲法	半期	○	○	2															
生命の科学	半期	○	○	2																
環境の科学	半期	○	○	2																
倫理学	半期	○	○	2																
社会福祉論	半期				○	○	2													
東北地域論	半期				○	○	2													
情報リテラシー	半期				○	○	2													
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2															
	地域の課題Ⅰ	半期				●	2										◎			
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2												
	地域課題演習	通年									4									
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●	1													◎		
		英語ⅠB	半期		●	1												◎		
		英語ⅡA	半期				●	1										◎		
		英語ⅡB	半期					●	1									◎		
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●	1													◎	1単位選択必修。	
		フランス語ⅠA	半期	●	1															
		中国語ⅠA	半期	●	1															
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●	1															
		上級英語ⅠA	半期				●	1												
		ドイツ語ⅠB	半期		●	1												◎	1単位選択必修。Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。	
		フランス語ⅠB	半期		●	1														
		中国語ⅠB	半期		●	1														
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	1														
上級英語ⅠB	半期					●	1													

文学部教育学科課程表
平成30年度以降入学生適用 (その2)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考
			1年			2年			3年			4年			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	
外国語科目	第2類	ドイツ語ⅡA				●		1							◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 Bの選択にあたってはAと同一の科目を選択すること。 IIの選択にあたってはIと同一の外国語を履修すること。
		ドイツ語ⅡB					●		1						
		フランス語ⅡA					●		1						
		フランス語ⅡB						●		1					
		中国語ⅡA					●		1						
		中国語ⅡB						●		1					
		韓国・朝鮮語ⅡA					●		1						
		韓国・朝鮮語ⅡB						●		1					
	第3類	ベーシック英語	半期	●		1									
英語Ⅲ	半期								1						
保健体育科目	体育講義	半期	○	○	2										
	スポーツ実技	通年	●	●	2										
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期	○		2									
		日本事情B	半期		○	2									
		日本事情C	半期	○		2									
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1									
		日本語ⅠB	半期		●	1									
		日本語ⅡA	半期				●		1						
		日本語ⅡB	半期					●		1					
第1類 (教育学)	教育原論	半期	●		2									◎ ☆教員免許状取得者は必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2									◎ ☆教員免許状取得者は必修	
	教育心理学	半期				●		2						◎ ☆教員免許状取得者は必修	
	教育課程論	半期				●		2						◎ ☆教員免許状取得者は必修	
	教育方法	半期				●		2						◎ ☆教員免許状取得者は必修	
	発達心理学	半期					●		2						
	学級経営論	半期						●		2					
	教育社会学	半期							●		2				
	生涯学習論	半期								●		2		図書館司書課程履修者は必修	
	特別支援教育論Ⅰ	半期								●		2			
	特別支援教育論Ⅱ	半期									●	2			
	第2類 (児童教育)	教育相談の理論と方法 (初等教育)	半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修
生徒指導・進路指導の理論と方法 (初等教育)		半期							●		2			◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
国語概説 (書写を含む)		半期				●		2						◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
社会概説		半期					●		2					◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
算数概説		半期				●		2						◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
理科概説		半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
生活概説		半期	●		2										
音楽概説		半期				●		2							
図画工作概説		半期					●		2						
家庭概説		半期				●		2							
体育概説		半期	●		2										
児童英語概説		半期					●		2					◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (国語)		半期					●		2					◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (社会)		半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (算数)		半期					●		2					◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (理科)		半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (生活)		半期		●	2									◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (音楽)		半期					●		2					◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (図画工作)		半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (家庭)		半期						●		2				◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修	
初等教科教育法 (体育)	半期		●	2									◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修		
初等教科教育法 (英語)	半期							●		2			◎ ☆小学校教員免許状取得者は必修		

文学部教育学科課程表
平成30年度以降入学生適用 (その3)

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	○印—必修科目	○印—選択必修科目	
第3類 (英語教育)	英語教育学概論	半期	●		2												
	教育英語学概論	半期				●		2								○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	英米文学概論	半期				●		2								○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	英米文学講読	半期					●	2									
	英米小説Ⅰ	半期							●		2						
	英米小説Ⅱ	半期								●	2						
	英米演劇Ⅰ	半期							●		2						
	英米演劇Ⅱ	半期								●	2						
	実践英語発音学Ⅰ	半期				●		2									☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	実践英語発音学Ⅱ	半期				●		2									☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	教育英文法Ⅰ	半期							●		2					○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	教育英文法Ⅱ	半期								●	2					○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	英語史Ⅰ	半期							●		2						
	英語史Ⅱ	半期								●	2						
	第二言語習得論Ⅰ	半期										●		2		○	
	第二言語習得論Ⅱ	半期											●	2		○	
	英語コミュニケーション概論	半期							●		2					○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	社会言語学概論Ⅰ	半期										●		2			
	社会言語学概論Ⅱ	半期											●	2			
	応用言語学概論Ⅰ	半期										●		2			
	応用言語学概論Ⅱ	半期											●	2			
	総合英語コミュニケーション演習Ⅰ	半期	●		2											○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	総合英語コミュニケーション演習Ⅱ	半期		●	2											○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	総合英語コミュニケーション演習Ⅲ	半期						●		2						○	
	総合英語コミュニケーション演習Ⅳ	半期							●		2					○	
	教科教育法Ⅰ(英語)	半期				●		2									☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	教科教育法Ⅱ(英語)	半期					●		2								☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	教科教育法Ⅲ(英語)	半期						●		2							☆中・高英語教員免許状取得者は必修
	教科教育法Ⅳ(英語)	半期								2							教科教育研究Ⅳは、開講しない場合もある。
	英語教育実践(海外研修)	半期									2						
第4類 (異文化理解教育)	異文化理解	半期						●		2					○		
	異文化間コミュニケーション論	半期							●	2					○	☆中・高英語教員免許状取得者は必修	
	多文化・グローバル教育	半期							●	2					○		
	シティズンシップ教育	半期									●		2				
	持続可能な発展のための教育(ESD)	半期										●	2				
	平和教育	半期										●	2				
	海外研究Ⅰ	半期					2										
	海外研究Ⅱ	半期					2										
第5類 (教職実践)	ICT教育論	半期				●		2									
	情報教育論	半期						●		2							
	メディア・リテラシー教育論	半期								●		2					
	ICT教育実践	半期						●		2							
	学級経営・生徒指導実践	半期							●	2							
	学校経営・協働教育実践	半期									●		2				
	安全・防災教育実践	半期									●		2				
	学習支援実践(インターンシップ)	半期				●		2									
	授業づくり実践Ⅰ(国語・算数・外国語)	半期						●		2							
	授業づくり実践Ⅱ(社会・理科・生活)	半期							●	2							
	授業づくり実践Ⅲ(家庭・道徳・総合的な学習)	半期									●		2				
授業づくり実践Ⅳ(音楽・図画工作・体育)	半期										●	2					
第6類 (演習・卒業研究)	教育学演習Ⅰ	半期						●		2					○		
	教育学演習Ⅱ	半期							●	2					○		
	卒業研究Ⅰ	半期											1		○		
	卒業研究Ⅱ	半期											1		○		

文学部教育学科課程表（資格科目）

平成30年度以降入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考	
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
教職等に関する科目	現代教職論	半期	●		2											☆印—必修科目 ☆印—選択必修科目
	道德教育の理論と方法	半期							●		2					☆教員免許状取得者は必修
	教育相談の理論と方法	半期				●		2								☆小・中学校教員免許状取得者は必修
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期					●	2								☆中・高教員免許状取得者は必修
	特別活動の理論と方法	半期							●		2					☆中・高教員免許状取得者は必修
	介護体験実習	通年							●	●	2					☆教員免許状取得者は必修
	教育実習（小学校）	通年										●	●	5		☆小・中学校教員免許状取得者は必修
	教育実習Ⅰ	通年										●	●	3		☆小学校教員免許状取得者は必修
	教育実習Ⅱ	通年										●	●	2		☆中・高教員免許状取得者は必修
	教職実践演習（小・中・高）	半期											●	2		☆中・高教員免許状取得者は必修
図書館司書に関する科目	図書館概論	半期					2									☆
	図書館情報技術論	半期								2						☆
	図書館サービス概論	半期								2						☆
	図書館情報資源概論	半期								2						☆
	情報資源組織論	半期								2						☆
	図書・図書館史	半期								2						
	図書館制度・経営論	半期											2			☆
	情報サービス論	半期											2			☆
	情報サービス演習A	半期											1			☆
	情報サービス演習B	半期											1			☆
	情報資源組織演習	通年										●	●	2		☆
	図書館情報資源特論	半期											1			
	図書館施設論	半期											1			
司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	半期								2						☆図書館司書課程と共通
	学校図書館メディアの構成	半期								2						☆
	学習指導と学校図書館	半期								2						☆図書館司書課程と共通
	読書と豊かな人間性	半期								2						☆図書館司書課程と共通
	情報メディアの活用	半期								2						☆

教育学科卒業要件（平成30年度入学生より）

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TGベーシック	人間的基礎	10	30
		知的基礎	10	
	学科教養科目		10	
地域教育科目				2
外国語科目	第1類		4	6
	第2類		2	
専門教育科目	第1類（教育学）	必修科目8単位を含む	12	84
	第2類（児童教育）	必修科目22単位を含む	26	
	第3類（英語教育）	必修科目24単位	24	
	第4類（異文化理解教育）	必修科目6単位	6	
	第5類（教職実践）	選択必修科目10単位	10	
	第6類（演習・卒業研究）	必修科目6単位	6	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目第1類～第5類 教職等に関する科目、他学部・他学科開講専門教育科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				2
合 計				124

教育学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目		合計20単位以上
外国語科目		4単位以上
専門教育科目	第1類～第6類	16単位以上
合 計		40単位以上

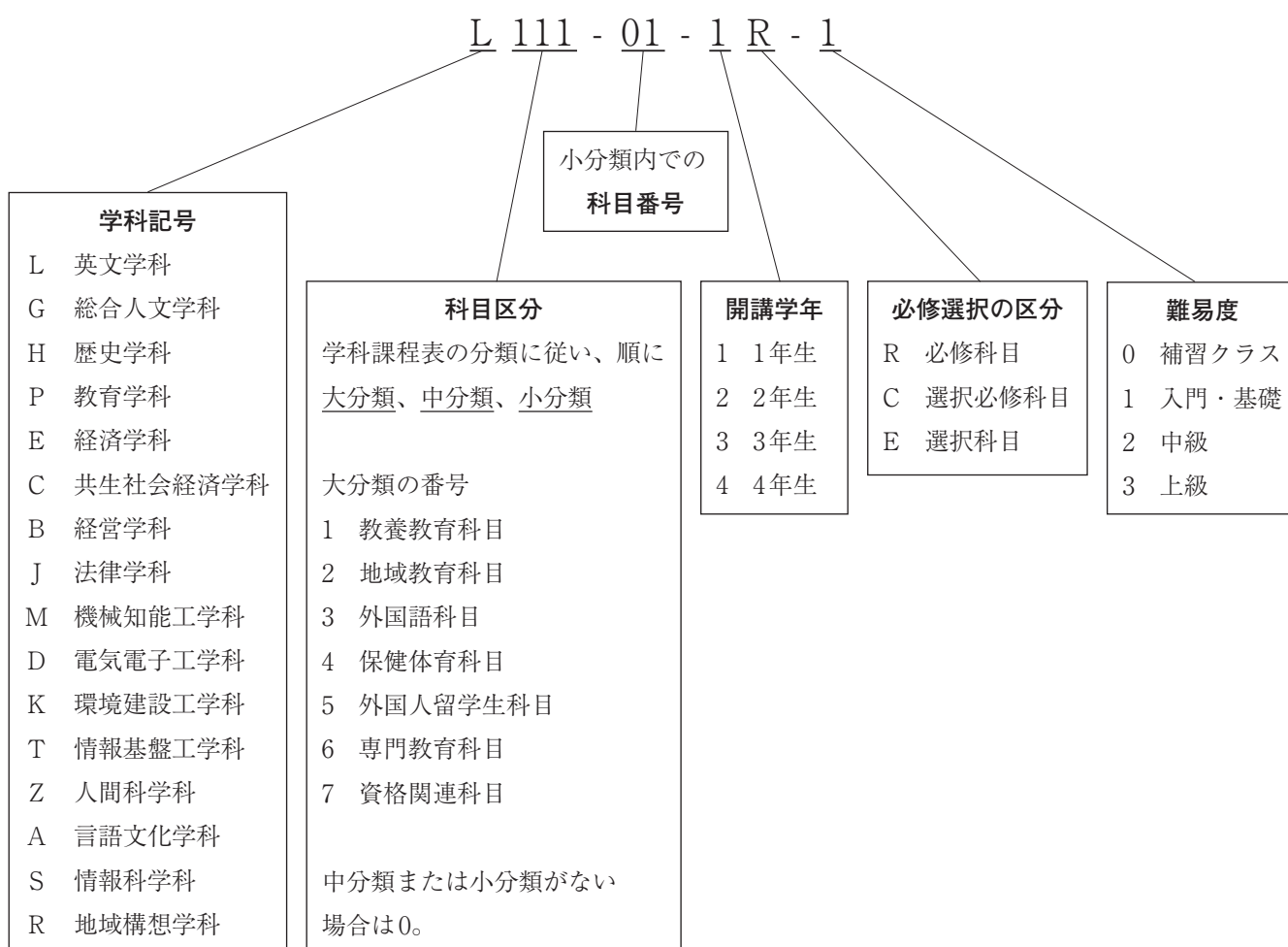
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



文学部 教育学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
P111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
P111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
P111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
P111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
P111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
P111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
P111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
P111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
P111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
P111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
P112-01-2E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
P112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
P112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
P112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
P112-05-2E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
P112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
P112-07-1R-1	読解・作文の技法		◎			
P112-08-1R-1	研究・発表の技法		◎			
P120-01-1E-1	哲学		○	◎		
P120-02-2E-1	音楽 (器楽)			◎	○	
P120-03-2E-1	芸術論		○	◎		
P120-04-1E-1	歴史学		○	◎		
P120-05-1E-1	文化人類学		○	◎		
P120-06-1E-1	社会学		○	◎		
P120-07-1E-1	経済学		○	◎		
P120-08-2E-1	法学		○	◎		
P120-09-1E-1	日本国憲法		○	◎		
P120-10-1E-1	生命の科学		○	◎		
P120-11-1E-1	環境の科学		○	◎		
P120-12-1E-1	倫理学		○	◎		
P120-13-2E-1	社会福祉論		○	◎		
P120-14-2E-1	東北地域論		○	◎		
P120-15-2E-1	情報リテラシー		○	◎		
P200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
P200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
P200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
P200-04-3E-2	地域課題演習					◎
P310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
P310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
P310-03-2R-1	英語 II A		◎	○		
P310-04-2R-1	英語 II B		◎	○		
P320-01-1C-1	ドイツ語 I A		◎	○		
P320-02-1C-1	フランス語 I A		◎	○		
P320-03-1C-1	中国語 I A		◎	○		
P320-04-1C-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○		
P320-05-2C-2	上級英語 I A		◎	○		
P320-06-1C-1	ドイツ語 I B		◎	○		
P320-07-1C-1	フランス語 I B		◎	○		
P320-08-1C-1	中国語 I B		◎	○		
P320-09-1C-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○		
P320-10-2C-2	上級英語 I B		◎	○		
P320-11-2E-2	ドイツ語 II A		◎	○		
P320-12-2E-2	ドイツ語 II B		◎	○		
P320-13-2E-2	フランス語 II A		◎	○		
P320-14-2E-2	フランス語 II B		◎	○		
P320-15-2E-2	中国語 II A		◎	○		
P320-16-2E-2	中国語 II B		◎	○		
P320-17-2E-2	韓国・朝鮮語 II A		◎	○		
P320-18-2E-2	韓国・朝鮮語 II B		◎	○		
P330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
P330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
P400-01-1E-1	体育講義			◎	○	
P400-02-1E-1	スポーツ実技			◎	○	
P510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
P510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
P510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
P520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
P520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○		
P520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○		
P520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

文学部 教育学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		教育学における基本的知識や固有の思考方法について、その概要を説明することができる。	人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる。	多面的な実践的指導力を身につけ、多様な児童生徒の一人ひとりに寄り添うことができる。	幅広い異文化理解・国際理解に基づいて、小学校での英語教育に力を発揮することができる。	複数の学校種において、多様な発達段階の児童生徒の学びと成長を支援することができる。
P610-01-1R-2	教育原論	◎	○			
P610-02-1R-2	教育の制度と経営	◎	○			
P610-03-2R-2	教育心理学	◎	○			
P610-04-2R-2	教育課程論	◎	○			
P610-05-2E-2	教育方法	◎				○
P610-06-2E-2	発達心理学	◎				○
P610-07-3E-2	学級経営論	◎				○
P610-08-3E-2	教育社会学	◎	○			
P610-09-4E-2	生涯学習論	◎	○			
P610-10-4E-2	特別支援教育論 I	◎				○
P610-11-4E-2	特別支援教育論 II	◎				○
P620-01-3R-2	教育相談の理論と方法 (初等教育)		○	◎		
P620-02-3R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法 (初等教育)		◎	◎		
P620-03-2R-2	国語概説 (書写を含む)	◎	○			
P620-04-2R-2	社会概説	◎	○			
P620-05-2R-2	算数概説	◎	○			
P620-06-3R-2	理科概説	◎	○			
P620-07-1E-2	生活概説	◎	○			
P620-08-2E-2	音楽概説	◎	○			
P620-09-2E-2	図画工作概説	◎	○			
P620-10-2E-2	家庭概説	◎	○			
P620-11-1E-2	体育概説	◎	○			
P620-12-2R-2	児童英語概説	◎			○	
P620-13-2R-2	初等教科教育法 (国語)		○	◎		
P620-14-3R-2	初等教科教育法 (社会)		○	◎		
P620-15-2R-2	初等教科教育法 (算数)		○	◎		
P620-16-3R-2	初等教科教育法 (理科)		○	◎		
P620-17-1E-2	初等教科教育法 (生活)		○	◎		
P620-18-2E-2	初等教科教育法 (音楽)		○	◎		
P620-19-3E-2	初等教科教育法 (図画工作)		○	◎		
P620-20-3E-2	初等教科教育法 (家庭)		○	◎		
P620-21-1E-2	初等教科教育法 (体育)		○	◎		
P620-22-3E-2	初等教科教育法 (英語)			○	◎	
P630-01-1R-2	英語教育学概論			○	◎	
P630-02-2R-2	教育英語学概論			○	◎	
P630-03-2R-2	英米文学概論		○		◎	
P630-04-2E-2	英米文学講読		○		◎	
P630-05-3E-2	英米小説 I		○		◎	
P630-06-3E-2	英米小説 II		○		◎	
P630-07-3E-2	英米演劇 I		○		◎	
P630-08-3E-2	英米演劇 II		○		◎	
P630-09-2E-2	実践英語発音学 I			○	◎	
P630-10-2E-2	実践英語発音学 II			○	◎	
P630-11-3R-2	教育英文法 I			○	◎	
P630-12-3R-2	教育英文法 II			○	◎	
P630-13-3E-2	英語史 I		○		◎	
P630-14-3E-2	英語史 II		○		◎	
P630-15-4R-2	第二言語習得論 I			○	◎	
P630-16-4R-2	第二言語習得論 II			○	◎	
P630-17-3R-2	英語コミュニケーション概論		○		◎	
P630-18-4E-2	社会言語学概論 I		○		◎	
P630-19-4E-2	社会言語学概論 II		○		◎	
P630-20-4E-2	応用言語学概論 I		○		◎	
P630-21-4E-2	応用言語学概論 II		○		◎	
P630-22-1R-2	総合英語コミュニケーション演習 I		○		◎	
P630-23-1R-2	総合英語コミュニケーション演習 II		○		◎	
P630-24-3R-3	総合英語コミュニケーション演習 III		○		◎	
P630-25-3R-3	総合英語コミュニケーション演習 IV		○		◎	
P630-26-2E-2	教科教育法 I (英語)			○	◎	
P630-27-3E-2	教科教育法 II (英語)			○	◎	
P630-28-3E-3	教科教育法 III (英語)			○	◎	
P630-29-3E-3	教科教育法 IV (英語)			○	◎	
P630-30-3E-2	英語教育実践 (海外研修)			○	◎	
P640-01-3R-2	異文化理解		○		◎	
P640-02-3R-2	異文化間コミュニケーション論		○		◎	
P640-03-3R-2	多文化・グローバル教育		○		◎	
P640-04-4E-2	シティズンシップ教育		○		◎	
P640-05-4E-2	持続可能な発展のための教育 (ESD)		○		◎	
P640-06-4E-2	平和教育		○		◎	
P640-07-2E-2	海外研究 I		○		◎	
P640-08-2E-2	海外研究 II		○		◎	

文学部 教育学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		教育学における基本的知識や固有の思考方法について、その概要を説明することができる。	人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる。	多面的な実践的指導力を身につけ、多様な児童生徒の一人ひとりに寄り添うことができる。	幅広い異文化理解・国際理解に基づいて、小学校での英語教育に力を発揮することができる。	複数の学校種において、多様な発達段階の児童生徒の学びと成長を支援することができる。
P650-01-2E-2	ICT教育論		○	◎		
P650-02-3E-2	情報教育論		○	◎		
P650-03-4E-2	メディア・リテラシー教育論		○	◎		
P650-04-3E-2	ICT教育実践		○	◎		
P650-05-3E-2	学級経営・生徒指導実践			◎		○
P650-06-4E-2	学校経営・協働教育実践			◎		○
P650-07-4E-2	安全・防災教育実践			◎		○
P650-08-2E-2	学習支援実践(インターンシップ)			◎		○
P650-09-3E-3	授業づくり実践Ⅰ(国語・算数・外国語)		○	◎		
P650-10-3E-3	授業づくり実践Ⅱ(社会・理科・生活)		○	◎		
P650-11-4E-3	授業づくり実践Ⅲ(家庭・道徳・総合的な学習)		○	◎		
P650-12-4E-3	授業づくり実践Ⅳ(音楽・図画工作・体育)		○	◎		
P660-01-3R-3	教育学演習Ⅰ	◎	○			
P660-02-3R-3	教育学演習Ⅱ	◎	○			
P660-03-4R-3	卒業研究Ⅰ	◎	○			
P660-04-4R-3	卒業研究Ⅱ	◎	○			
P710-01-1R-1	現代教職論		○			◎
P710-02-3R-2	道徳教育の理論と方法		○	◎		
P710-03-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		○
P710-04-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		○
P710-05-3R-2	特別活動の理論と方法			◎		○
P710-06-3R-2	介護体験実習		◎			○
P710-07-4R-3	教育実習(小学校)			◎	○	
P710-08-4R-3	教育実習Ⅰ			◎		○
P710-09-4R-3	教育実習Ⅱ			◎		○
P710-10-4R-3	教職実践演習(小・中・高)			◎		○